

## サ 一 ク 間 ①



# 踊りと囃子の一体感「はねこ踊り」 寺崎はねこ踊り保存会

「寺崎はねこ踊り保存会」は、桃生地区を代表する伝統芸能「はねこ踊り」の保存・普及活動に尽力している団体です。不作続きだったある年に突然豊作になり、農民たちが踊りまわったのが始まりとされている「はねこ踊り」は、県内や国内に留まらず、海外でも披露されています。家族や地域の強いつながりがあるからこそできるこの伝統芸能について、会長の佐々木一さんに伺いました。

「はねこ踊り」は、青葉城の石垣造りの人夫たちの余興としても踊られていた、言わば「すずめ踊り」の前身です。昭和45年に保存会を結成し、正会員35人ほどで運営していますが、寺崎住民全員が会員の様なものです。小・中学校の運動会では必ず披露されるし、9月に開催される「もものふれあい祭」では、観客をも巻き込んだ1,000人ほどの大乱舞となり見応えがあります。東京で開催された文化庁主催「全国民俗芸能大会」に2回出場したり、仙台空港シンガポール直行便開通記念としてシンガポールで踊ったり、各種イベントからの要請はひっきりなしにあります。

「はねこ踊り」は、色鮮やかな衣装をまとった踊り手と軽やかなリズムを刻む囃子方の息のあったダイナミックな踊りです。新市の誕生に伴い、今後は、石巻市の伝統芸能として、もっと全国に広めていきたいと思っています。



実家が山梨県の韮崎市なので子どものころから富士山を見て育ちました。

写真は、昨年、実家に帰ったときに写したもので、カラーでないのが残念ですが、赤富士に笠雲がかかった写真です。この両方が同時にカメラにおさめられるのは、極めてまれなことです。

## 自分に感動、人に感動を！



川口 洋さん  
(相野谷)

山・写真・太鼓・料理・歴史・陶芸・茶道など多趣味で、生きることにチャレンジすることは、人間の幅を広げ、知識を幅広くもつことができるので、多くの人と会話を楽しめよう。

母を失ったとき、だいぶ精神的に苦労したために人の気持ちに分かるようになり、「友達が多い人と少ない人では、何かが違う。私は、多くの友人に恵まれ、やっぱり人間が好きなのだ」と感じています。

「自分で感動しなければ、感動を与えることはできない」が持論で、旅行できれいなものや感動したものを写真におさめたいと常々思っています。

個人主義が多い中、地域と自然環境に恵まれて育ったことを幸いに感じ、今後も地域の人たちと兄弟のように暮らしていきたいと思っています。

# みんな

## 蘭を育てて健康づくり

佐藤まさこさん(水沼) 94歳

### 長寿のひけつ

①



今回は、94歳で花を育てることに情熱を燃やしている、佐藤まさこさんをご紹介します。

佐藤さんは、花が大好きで特に蘭を育てる名人です。他に野球と相撲の大ファンで、選手や関取の名前や出身地は、ほとんど覚えています。特に野球選手は、背番号で名前や出身地まで分かるという熱の入れようです。

また、必要な電話番号も全部記憶していることから、家族からは「生き神」「コンピュータ」と重宝がられています。

昔から花は好きでしたが、田畑の仕事に追われて手が回りませんでした。十数年前に息子や孫が洋蘭をお土産に持ってきたことから、本格的に蘭の育成を始めました。テレビの園芸番組を欠かさず見て、独学で始めたところ、毎年美しい花を咲かせることができるようになりました。近所の人たちが見に来てくれて、美しいとほめてもらえることが一番うれしいです。育

てたかいがあります。

今年も雪が降ったときに、近所の人たちが集まってお茶を飲みながら、雪と蘭と一緒に眺めて楽しみました。このように、いつも近所の人たちが花を観に来るので、それが励みにもなるし、毎日がお花見のようで、地域の語らいの場として役立てられればうれしいです。

蘭は、花芽を伸ばし、脇芽を摘むことが肝心で、花が終わってもきちんと水と肥料をやることを忘れてはいけません。寒いときは、新聞紙で囲って結わえ、萎えないようにしたり、新聞紙の上に乗せて、廊下を引っ張りながら移動させたりして、陽が満遍なくあたるように心がけています。毎年増えるので、株分けをしてほしい人に配り、喜んでいただいています。

重い鉢の移動や株分けのときは、力を必要とするので大変ですが、家族みんな協力してくれるので助かります。

## 情報をお寄せください

このページは、市民の皆さんが参加して、みんなで作るコーナーです。毎月、次のような方々を紹介していきます。

自薦・他薦を問いませんので、情報をお寄せください。

- 大会などで実績のある元気で明るい若者
- 永年の技術・特殊な趣味を持っている高齢者
- 力を合わせて永年仕事をしている夫婦
- 仲の良い3人以上の兄弟姉妹
- 音楽・スポーツ・ボランティアなど独特なサークル活動をしている団体
- 写真や絵を趣味としている方

連絡先：秘書広報課（広報担当）

☎ 95 - 1111（内線 211）

Eメール：kouhou@city.ishinomaki.miyagi.jp

## にぎやか家族 ④

鹿又



みづき 瑞基ちゃん(11歳)    あんじゅ 杏樹ちゃん(10歳)    りゅうのすけ 隆之介くん(9歳)  
 こうのすけ 光之介くん(8歳)    しゅんのすけ 駿之介くん(3歳)    しょうのすけ 匠之介ちゃん(7カ月)

<パパママから> 伊藤勝徳さん・ゆかりさん

きょうだい仲良く、健康でいてね

<子どもたちから>

みんな温泉が大好きで家族でよく出かけるけど、今度、ディズニーランドに連れてって